

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院放射線科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：副腎腫瘍のProton density fat fraction法による脂肪定量化の有用性に関する検討

1. 研究の概要

副腎腫瘍の画像診断において特に腺腫と他の副腎腫瘍の鑑別は治療方針決定に重要です。腺腫の診断には脂肪の検出が重要で、CTでは検出困難な微量の脂肪を含む腺腫に対して従来MRIの化学シフト法を使用しています。化学シフト法として現在は2D GREによるdual phase (in-phase, opposed-phase)撮像が広く行われており、有用性が報告されています。近年proton density fat fraction (PDFF)法が開発され、fat fraction image (脂肪比率画像)が撮影可能になりましたが、化学シフト法やCTと比較検討した報告は少ないです。本研究では、当科と熊本大学放射線科で施行した副腎腫瘍に対するMRIのPDFF法による脂肪定量化の有用性を明らかにします。

本研究は以下の体制で実施します。

【統括責任者】

平井 俊範 宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野 教授

【主任研究者】

新川 慶明 宮崎大学医学部附属病院放射線部 助教

【分担研究者】

浪本 智弘 熊本大学大学院生命科学研究部放射線医学治療分野 講師

2. 目的

副腎腫瘍に対するMRIのPDFF法による脂肪定量化の有用性を明らかにします。なお、この研究は、画像診断学に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 対象者

平成27年1月から平成30年12月に本院もしくは熊本大学附属病院で副腎のCT検査及びMRI検査を受けられた方が対象となります。

4. 方法

対象となる方のカルテ情報から、年齢、性別、診断名、CTの検査結果、MRIの検査結果を利用させて頂き、これらの情報をもとにMRIのPDFF法で脂肪比率を解析し、PDFF法の有用性を検討します。

本学における個人情報の管理者：

宮崎大学医学部附属病院放射線部 助教 新川 慶明

本学に情報を提供する施設：

熊本大学

熊本大学の研究責任者：

熊本大学大学院生命科学研究部放射線医学治療分野 講師 浪本 智弘

熊本大学より受け取る情報の種類：

MRI及びCT検査データ

5. 費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

6. 利益及び不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

7. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

8. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

9. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会発表後は途中辞退することができない場合もあります。

10. 疑問や質問があった場合の連絡先

この研究に関して疑問や質問があった場合は下記連絡先へ遠慮無く連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院放射線部

助教 新川 慶明

電話：0985-85-2807

FAX：0985-85-7172

メール：houshasenka@med.miyazaki-u.ac.jp